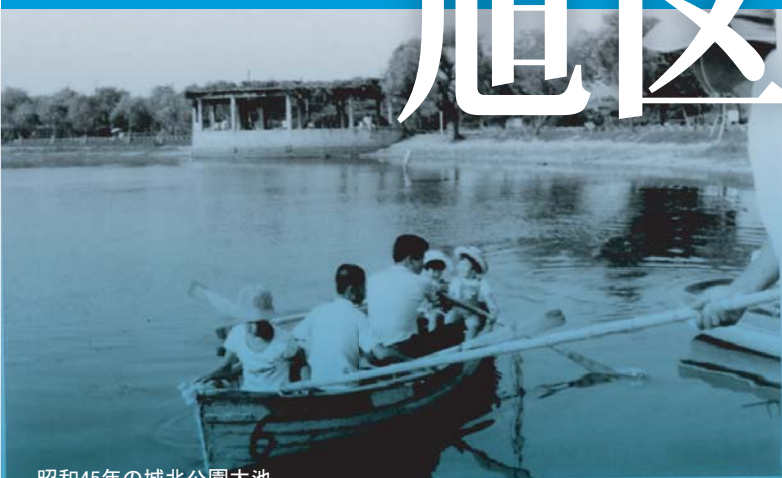


History of Asahi Ward

旭区



昭和45年の城北公園大池

区民による地域史づくり・人づくり

平成22年3月

いまむかし

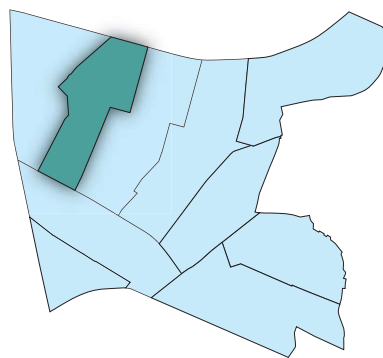
旭区の今昔を知る会
大阪市旭区役所

地域史

大阪市旭区地域史づくりワークショップ

いくえ

生江 編



旭区地域史

区民による地域史づくり・人づくり 大阪市旭区地域史づくりワークショップ

平成21年度実施地域 高殿・生江・城北

はじめに～地域史について

■この「旭区地域史」は、地域の歴史を発掘する区民の取り組みとして、平成21年5月28日から平成22年3月11日の約10ヶ月間に計10回ワークショップを開催し、その成果として参加者の手によって作成されたものです。ワークショップは、地域史の作成とともに、「知って得する旭学講座」などで積み重ねてきた経験等を活かした人材の育成、活動を通じて地域コミュニティのさらなる向上を図ることも目的としています。

■ワークショップに参加された方は、これまで地域を研究されていて歴史について大変知識のある方から、旭区にずっと住んでおられるが地域の歴史をあまりご存じでない方までいらっしゃいましたが、「地域史をつくる」という1つの目標に向かって一丸となり取り組みました。

■今後は、旭区民が作成した初の「地域史」として、多くの方々に興味を持っていただき、地域のコミュニケーションを高めるツールや学校の教材など、様々な場面で活用されていくことが期待されます。

■地域史の作成にあたり、各種資料をご提供いただいた関係機関の皆様、心からお礼を申し上げます。



■第1回（平成21年5月28日）



■第4回（平成21年7月23日）



■第5回（平成21年9月8日）



■第2回（平成21年6月18日）
まちあるき（高殿）



■第3回（平成21年6月24日）
まちあるき（生江・城北）



■第6回（平成21年10月9日）



■第7回（平成21年11月12日）



■第8回（平成21年12月3日）



■第9回（平成22年1月13日）



■成果発表会（平成22年2月27日）



■第10回（平成22年3月11日）

旭区でそれはいつから始まったのか？	3
地域の移り変わり	4
生江のテーマ	5
ワークショップの活動記録	6
千人塚	7
インタビュー「千人つか」	11
その日私は…「回想」	12
千人つか	13

淀川	15
淀川とワンド	19
花・緑・川!人気の城北公園	21
菅原城北大橋	31



明治以降の旭区のあゆみ

明治	4年 (1871)	廃藩置県（大阪府を置く）旭区域は摂津県東成郡に属す
	6年 (1873)	千林小学校創立
	8年 (1875)	淀川修築工事着工 水制（ケレップ）工事が始まる 中村小学校（現、城北小学校）創立
	18年 (1885)	淀川左岸決壊し、大洪水が起こる。翌年にかけてコレラが大流行
	22年 (1889)	市制町村制施行（大阪市発足）旭区域は東成郡のまま 清水、古市、城北村がこの頃成立。
	29年 (1896)	淀川大洪水 翌年から淀川改良工事が始まる
大正	43年 (1910)	京阪電車開通（天満橋～五條間） 蒲生・野江・森小路駅開設
	45年 (1912)	この頃、千林商店街ができる。
	6年 (1917)	城北村に初の上水道給水
	7年 (1918)	米騒動が起こる
	11年 (1922)	古市・清水小学校創立 関西工学専修学校(現大阪工業大学)創設
	13年 (1924)	古市耕地整理組合設立 城北村で共同浴場開設
昭和	14年 (1925)	大阪市第二次市域拡張 旭区域が市域に編入され東成区に
	15年 (1926)	城北土地区画整理組合設立
	2年 (1927)	京阪国道(現、国道1号)の舗装工事始まる 京阪電鉄にロマンスカー登場
	3年 (1928)	片町～森小路、東野田6丁目～森小路1丁目間で区内初の市バス運行。
	4年 (1929)	区画整理事業による町名変更が行われる（昭和20年まで） 森小路、北船場、大宮で土地区画整理組合設立。
	5年 (1930)	榎並之荘、清水で土地区画整理組合設立。
	6年 (1931)	市電都島～守口間開通 森小路遺跡が発見される
	7年 (1932)	旭区が誕生（東成区から分区） 新森中央公園開園
	8年 (1933)	京阪国道(現、国道1号)開通 京阪電鉄蒲生～守口間高架複々線工事完成
	9年 (1934)	城北公園開園 室戸台風襲来
	12年 (1937)	御堂筋竣工
	15年 (1940)	城北運河（現、城北川）完成
	18年 (1943)	南半分が城東区、一部が都島区となり、現在の旭区となる。旭公園開園
	20年 (1945)	大阪市東北部大阪大空襲（6月7日） 終戦（8月15日）
	24年 (1949)	旭区役所庁舎再建（火災焼失のため）
	28年 (1953)	台風13号による大洪水が起こる
	32年 (1957)	今里～守口間でトロリーバス運転開始 ダイエー1号店が千林にオープン
	38年 (1963)	太子橋中公園開園
	39年 (1964)	城北公園に菖蒲園開園
平成	43年 (1968)	阪神高速道路北浜～森小路間開通
	44年 (1969)	市電全廃
	45年 (1970)	豊里大橋完成、平太の渡し廃止 旭区役所新庁舎完成 万国博覧会開催
	46年 (1971)	阪神高速道路守口線開通 旭区全域が下水処理区域になる
	48年 (1973)	城北運河魚つり場オープン
	49年 (1974)	城北運河歩行者専用道路完成 大阪市区画により26区に
	50年 (1975)	旭図書館、区老人福祉センター開設
	52年 (1977)	地下鉄谷町線都島～守口間開通 千林大宮、太子橋今市駅設置。
	58年 (1983)	淀川大堰竣工
	元年 (1989)	菅原城北大橋開通 大阪市区画により24区に
	2年 (1990)	国際花と緑の博覧会開催
	6年 (1994)	旭スポーツセンター開設
	12年 (2000)	旭区民センター・芸術創造館・旭図書館完成
	14年 (2002)	旭屋内プール、城北市民学習センター開設。

※「ぶらり探訪 旭の見どころ・知りどころ」
より抜粋



旭区でそれはいつから始まったのか？

資料提供：小井戸茂

項 目	年 代	摘 要
電気	明治43年	京阪電鉄毛馬火力発電所より供給開始
水道	大正11年	城北地区一部で送水開始、大正13年に古市・清水地区まで普及
ガス	昭和3年	大阪ガスが旭区へ供給開始、昭和6年に区内全域に供給
私鉄	明治43年	京阪電車開通、森小路駅開設。昭和6年に新線(B線のみ)へ移転
市電	昭和4年	都島本通～今市間開通、昭和6年に今市～守口間開通
市バス	昭和3年	森小路1丁目～片町間運行開始、昭和6年に森小路8丁目まで延長
トリーパス	昭和32年	守口～今里間運行開始、昭和45年に廃止
地下鉄	昭和52年	谷町線都島～守口間開通
公園	昭和7年	森小路中央公園開園、次いで昭和9年に城北公園開園
郵便局	大正6年	特定局森小路郵便局開局（ただし集配は本局鯉江郵便局）
電報	昭和8年	森小路郵便局で取扱い開始
電話	明治35年	今福郵便局電話分室で交換事務開始
警察署	昭和16年	旭警察署開署、以前は今福、網島、守口3署の管轄
消防署	昭和23年	旭消防署開署、以前は今福消防署の管轄
区役所	大正14年	東成区役所出張所を千林に設置、昭和7年に旭区役所新設
保健所	昭和16年	森小路保健所開所（大宮2）、昭和38年に新庁舎へ移転
税務署	昭和7年	旭税務署開署（野江中3）、昭和41年に新築移転
総合病院	昭和7年	区内にはなし。最寄り大阪高等女子医学専門学校付属病院開院
市民病院	昭和28年	市立城北市民病院開院、平成5年に市立総合医療センターに併合
大学	昭和24年	摂南工業大学発足（半年後に大阪工業大学と改称）
実業高校	大正12年	京阪商業仮開校、公立では昭和12年に第六職工学校開校
普通高校	昭和28年	府立旭高等学校開校（設立当初は府立第48高等学校）
新制中学校	昭和22年	市立旭第一中学校開校、昭和24年に旭陽中学校と改称
小学校	明治6年	組合立千林小学校創立、大正11年に古市・清水両小学校に分離
養護学校	昭和15年	市立思斉学校開校、昭和32年に思斉養護学校と改称
幼稚園	昭和13年	私立新森幼稚園開園、公立では昭和52年に市立旭東幼稚園開設
保育所	昭和8年	市立生江保育所開所
図書館	昭和50年	旭図書館開館、平成12年に現在地に移転
映画館	昭和12年	江南キネマ開館
大相撲	昭和12年	大阪国技館開館（関目は当時旭区）、昭和16年に中止
水都祭	昭和38年	旭区淀川河畔で開催、昭和49年まで。以後天神祭奉賛行事に併合
ラジオ	大正14年	(社)大阪中央放送局放送開始、昭和6年頃から受信機普及
テレビ	昭和28年	NHK本放送開始
地方銀行	大正9年	加島銀行森小路出張所開店
都市銀行	昭和8年	三和銀行森小路出張所開設、昭和13年に支店に昇格
近代工場	明治30年	奥村織布工場開業、旭区の工業の始まり
市場	大正9年	古市村営公設市場開場（後の森小路公設市場）
スーパー	昭和27年	ニチイ千林店発足（赤のれんが改組）、後のスーパーへ
百貨店	昭和6年	高島屋森小路店開店、のち斜め向かいへ移転
近代的国道	昭和8年	国道2号（別名京阪国道）開通 ※現在は国道1号
高速道路	昭和43年	阪神高速森小路線開通
運河	昭和15年	城北運河完成（昭和12年に古市橋開通）
渡し船	明治37年	平田の渡し（豊里村営で）。延宝4年(1676)以降個人経営
市会議員	昭和4年	現旭区出身の第1号 寺西圓治郎氏
水洗便所	昭和47年	今福下水処理場完成で実現
町会隣組	昭和15年	昭和22年に解散、現行の制度は昭和50年に旭区地域振興会発足から
現住居表示	昭和46年	町は削除、丁目・番・号制に改正…新地名登場(高殿、新森、清水、太子橋)



地域の移り変わり

協力：大阪市史編纂所



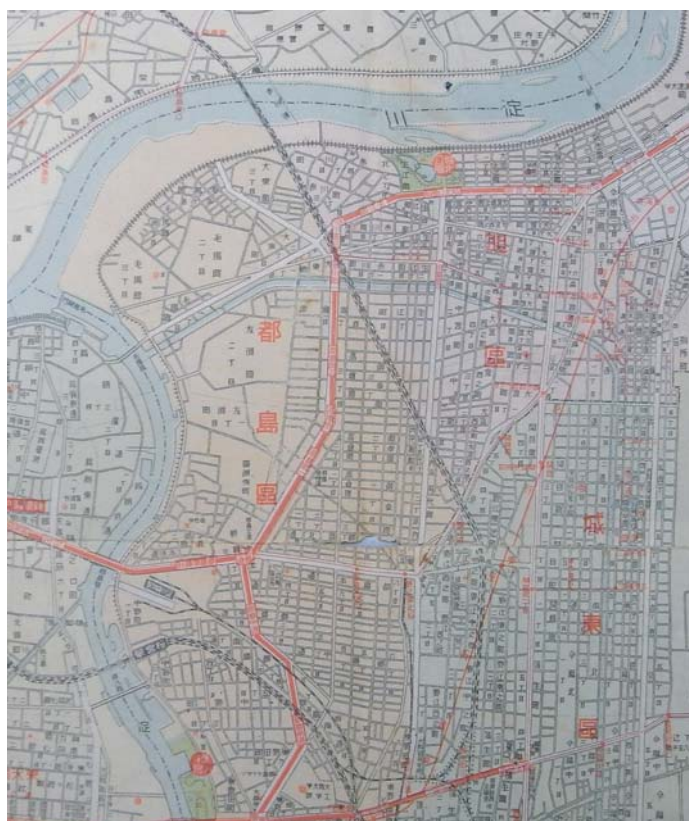
■明治20年(1887年)の旭区周辺

1887



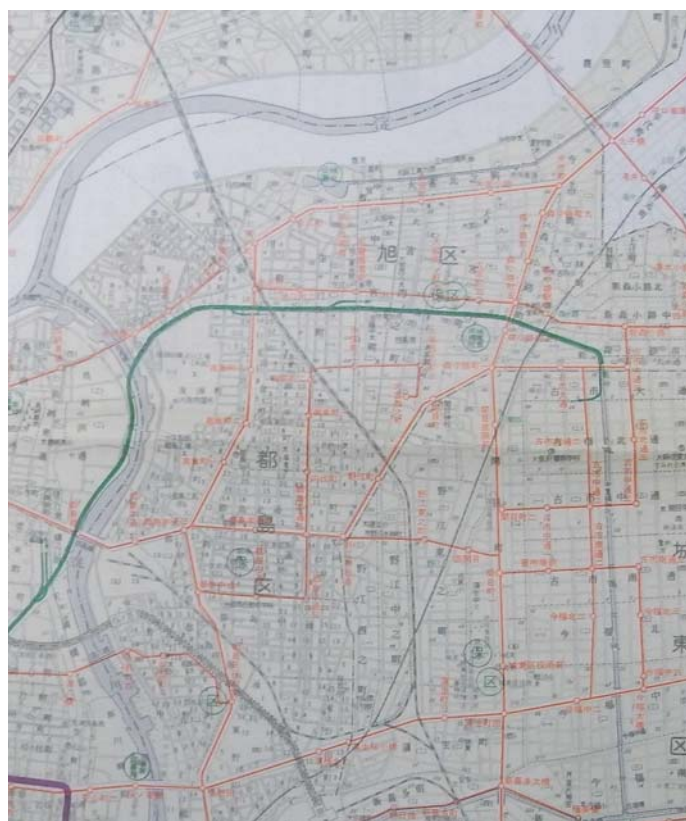
■大正14年(1925年)の旭区周辺

1925



■昭和29年(1954年)の旭区周辺

1954



■昭和45年(1970年)の旭区周辺

1970

生江



大阪市旭区
生江1～3丁目

ikue

生江のテーマ



管原城北大橋とワンド



平成21年度地域史づくりワークショップメンバー敬称略・50音順
 ■上田(勢) ■上田(信) ■上田(泰) ■遠藤 ■小椋 ■草木 ■小林
 ■竹中 ■千葉 ■富増 ■豊田 ■中村 ■奈佐 ■原田 ■福田

ワークショップの活動記録

ワークショップ開催日	議論のポイント・内容
第1回 平成21年5月28日	「進め方について～年間のプログラム」 「知りたいこと・知っていること・してみたいこと」
第2回 平成21年6月18日	「高殿のまちあるき」
第3回 平成21年6月24日	「生江・城北のまちあるき」
第4回 平成21年7月23日	「担当テーマを決める1」 「キーワードを出す」「まちあるきの整理」
第5回 平成21年9月8日	「河川施設の見学」「担当テーマを決める2」
第6回 平成21年10月9日	「持ち寄った資料を束ねる」「発表会について」
第7回 平成21年11月12日	「地域史紙面レイアウト1」「発表会について」
第8回 平成21年12月3日	「地域史紙面レイアウト2」「発表会について」
第9回 平成22年1月13日	「地域史紙面レイアウト3」「発表会について」
成果発表会 平成22年2月27日 旭図書館多目的室において、 地域史づくりワークショップ発表会 「旭区 いま・むかし」を開催	
 まちあるき(生江・城北)	
	
	
プログラム 1 地域史づくりのワークショップに参加して 2 城北川ぶらウオーク 3 柳通りの今昔 4 旭図書館の資料紹介 5 市史編纂所のご案内 6 区民のオアシス城北公園 7 大宮神社の参道・一の鳥居	
第10回 平成22年3月11日	「成果発表会のふりかえり～ これからの取り組みについて」「地域史の最終校正」
	



千人塚

聞 (夕刊)

2009年(平成21年)6月6日 土曜日

人生で一番悲しい瞬間切り取った



案内状が届く 前日、新聞に記事が 掲載。

朝日新聞夕刊に「大空襲惨禍 描き残す」あす大阪の慰霊法要で展示。と言う4段ぬきの大きな記事が写真入りで掲載された。

以前から話には聞いていたがまだ一度も参詣の機会がなく、今年は是非にと存知よりの方をお願いをしていたところ、次のようなご案内を頂き、早速同行することになった。

大空襲惨禍 描き

大阪大空襲で生き延びた真
市が当時居たところ、大空襲
の惨状を伝える写真、大空襲
の法に描き残された。中
の死を語り、大空襲の
惨状を伝える。

あす大阪の慰霊法要で

1945年6月7日の朝、17
歳だった

大空襲で生き延びた真
市が当時居たところ、大空襲
の惨状を伝える写真、大空襲
の法に描き残された。中
の死を語り、大空襲の
惨状を伝える。

城北公園
千人塚(平成二十一年度慰霊法要)

場所 城北公園 堤防上
(雨天の場合は常宣寺)

日時 六月七日(日曜日)午前十時三〇分

導師 常宣寺 藤林 顯品 師

昭和二十年六月七日の大空襲で、旭区、都島区、城東区、大淀区、
北区、守口市、等の 身元不明戦死者の遺体を集めて、三十三晩、
鬼哭する黒煙天に柱した無縁の人々の苦痛を弔うために、
千人塚を建立し、ささやかな慰霊法要を続けて参りました。
今年も同年の如く、心をめて慰霊法要を行いますので、大方の志
ある方々のご参詣御同様の程お願い申し上げます。
尚、お供物の義はお心遣いを下さいます様お願いいたします。

千人塚慰霊法要協賛会

大阪市旭区生江三丁目十三番五号

東 浦 栄 一
電話(06)6921-0870

■案内状

大阪の慰霊法要



■千人塚慰霊法要

千人つか、慰霊法要

当日は雨こそ降らなかったがなんとなく蒸し暑い日。

淀川パークハウスから赤バスに乗り、公園前のひとつ手前の生江住宅前でおりた。

(運転手さんが近いですと教えて下さったところ) 早速会場へ向かう。

日曜日「城北菖蒲園フェスタ」の二日目とあって、公園内のステージではブラスバンドや太鼓、音楽演奏、ダンスなど、また、広場ではフリーマーケット、各町内会ボランティアの飲食店、新鮮野菜売り場、体験コーナーなどで大賑わいだった。ご町内の顔見知りにもご挨拶をしたり、がんばってね！などと声をかけながら会場へ進む。

30分も前だというのに一張りのテントのなかはほぼ満員で、遺族の方は殆どが喪服、年配の方は娘さん、お孫さんらに手を引かれ、毎度お顔なじみは杖を突きながらお互いに挨拶をかわしておられた。

知人に東浦さんを紹介してもらい、太子橋の地域史を進呈して、今日のことを旭区の地域史に掲載させてもらう許可を得た。勿論写真撮影もOK。式が始まる前に、昨日夕刊の記事にあった真弓百合子さんが描いた大空襲の絵も含め、辺りの様子をスナップした。お願いして東浦さんの肖像も撮らせていただいた。式が始まるとなんとなく動きにくく、いい写真は取れなかった。

司会者の式次第、施主の挨拶に続いて導師の読経が始まると、施主、各種代表、遺族、一般と焼香が30分ほどで終了した。それから当時この場におられたかたがたのお話があった。



■ 東浦さん

6月、大空襲の犠牲者・・・

爆弾や焼夷弾が降り注いだ

P51 の機銃掃射も受けた。

こうして、旭区城北公園の惨事、大淀区長柄橋や東淀川区崇禅寺の悲劇が展開されたのである。

(当日配布された資料より抜粋)



■ 千人塚



四国から見た河原節子さん80歳は、挺身隊で大阪へ働きにきていて、空襲にあい、多くの友人を失ったと。もう今をおいて誰があの忌まわしい戦争を語り継ぐことができるものかと、不自由な足に杖をつきつつ語られた。地元のかたが私財をなげうって慰霊を続けてくださることに深い感謝の念を禁じ得ないとも。そして健康の許す限り法要に参加し続けたいといわれた。

お友達4人と皆の前でとてもしっかりと話された。

もう一人両親と姉妹を亡くした方は、「4人の遺体を火葬した記憶が今も忘れられない」と語られた。

当時16歳くらいでそんな目にあったらと、本当に戦争はこの世の罪悪であるとの感を深くした。

千人塚慰霊法要参詣、それは64年前の私の記憶と重なって、慟哭のひとつときであった。

亡くなった人たちが眠る場所。



絵:真弓百合子さん

絵:栗林幸子さん

■千人塚と絵

愛する家族を亡くし 多くの友人の死を見ることを 忘れられるわけがない。



被災した思い、多くの友人達の
死の重みを語る



両親・姉妹4人の遺体を
火葬した記憶を語る



■ 東浦さんご家族

戦争はいまわしい
だからこそ語り継がなければいけない
決して記憶からなくならないように

終わりに、司会者から「長年の東浦さんのご苦勞に対し、本人はもとよりご家族の支えがあつてのこととみんなで感謝の拍手を」といわれ、ご家族が始めてみんなの前に顔を見せられた。ご尊父栄二郎さん（故人）が建てられた千人塚を行政による公的な慰霊行事がないなかを、ずっと守り続けてこられたことに心より敬意を表したい。これからもきっと、ご家族が受け継いで下さることであろう。

参加者は毎年100人くらいなので、そのつもりで準備していたら、当日は150人ほどになって、椅子などの準備が追いつかず大変だったと聞いた。前日の夕刊の記事も影響したのだろうか。

後日、一人で訪れた千人塚は人の気配は無くひっそりとしていた。

ただ真夏の風が途絶え耐えられない暑さであった。（このような状態を俳句では風死するという季語を用いる）

佇みし千人塚に風死せり 貴子

64年前、前途ある幾多の命が奪われた魂の声なき声を聴いていただけたら幸いに思う。〈豊田貴子〉

千人塚資料写真 豊田 貴子

最終段階になって、東浦さんにご意見を伺う機会を得た。お忙しい方なのだが時間を作っていただき(平成22年2月11日)お宅にお伺いした。優しいけれどどこか毅然としたところがあり、少し緊張したが話題が豊富で人を飽きさせないお話し上手、あっという間に2時間近くがたってしまった。

伺った話は、河原節子さんのこと・栗林幸子さんの絵について・「わが町旭」の「千人塚」の文中で思うこと・感謝されることについてであった。

河原節子さん(この時の代表者)

松山城北(ジョウホク)高等女学校より約150名が動員で来阪し、現在の赤川三井住友銀行の横にあったアパートを宿舎にしておられた。その中で、前夜夜勤のため6月7日に残っていた15名の方々が空襲に合い、曾我静雄先生に率いられて先生の機転のきいた指導よろしく、全員が無事であった。勿論寮は全焼した。(空襲の中をいかにうまく逃げおおせたか当時を髣髴とさせるお話は長文になるので残念ながら割愛させていただきます。)

栗林幸子さんの絵 6月7日の空襲

淀川河川敷での死体処理の前の風景を見られて、死体はもっと凄いものだったと感慨深げに何度も何度もつぶやくようにいわれたのが、印象的だった。

「わが町 旭」の「千人塚」の文中(遺骨は土中に葬られ、いつしか雑草に埋もれて忘れさられようとしていました。)のくだりは、堤防の工事が何度も繰り返され其の度に塚が移転し、ある一時はそのような状態になっていたとしても、決して忘れ去るというようなことはなかったとおっしゃられた。

「東浦さんご一家に感謝の拍手」これは司会の高山さん(友人で、よき理解者・協力者)が突然言い出したことで、自分ではごく当たり前のことだと思っています。当時18歳の自分の友人たちは殆ど特攻などで死別したが、激しい空襲にも幸い命を永らえこうして暮せている。残ったものは当然このようにすべきと言うより、心からそうしたいと思っている。中学校で教わった、中国の項羽の「恥ず我、何の顔(カンバセ) あってか父老に見(マミ)えん」の漢詩を書いて、こんな心境ですと。とても謙遜されていた。

公のものに個人的なことをあんまり書いてはと、しきりに言われた。お気持ちを十分お伝えしますからと申し上げて、ようやくお暇をすることになった。

すっかり激しくなった雨の中を歩きながら、今伺ってきた60年前の記憶とそれに連なるさまざまな出来事を思い起こし、よく生きることの難しさと素晴らしさを深く噛みしめていた。改めて東浦さんに「ありがとうございました」と心の中で呟きながら。

〈豊田貴子〉

その日(昭和20年6月7日)私は・・・「回想」

その日私は造幣局にいた。

空襲警報解除と同時に屋上へ出てみると、空からは真っ黒な雨が降り見渡す限りの焼け野原、まだ、所々には火の手が見えた。もうこの世の終わりかと思う気持ちになった。

(後日少しぐらいの火の手にはびくともしない自分が恐ろしかったものだ)。

当時、男子局員はほとんど戦場か軍需工場で、残っているのは管理職の男性とあとは女子ばかりでとても心細いことだった。みんな家が心配なので、とにかく女性は帰ってよいことになった。「危なかったらすぐ引き返してきなさい」上司の温かく心強い言葉を背にして、手ぬぐい一本余分に鞆に詰め早速帰路につく。

当時、父が女学校勤めだったので、まずその動員先である大阪城内の師団司令部へ安否を確かめに回った。「生徒全員無事引率して学校へ帰られました」ということを聞いてやっと一安心、さあ自分が帰ろうとしたら、野田橋から北へは電車もなく都島は焼け野原で通行不能になっている。

仕方なく手ぬぐいを道路わきの水に浸して、まだ焼けくすぶって異臭を放っている都島を避け、野田橋から四条畷方面へ迂回して途中道を尋ねながら新森小路の我が家へついたのは夕暮れだった。

勿論、全部歩き通し。歩くのが当たり前みたいな世の中だった。その夜家族が揃ったのは何時ごろだったか記憶は定かではない。自分が生きていたことだけが確かなことだった。

〈豊田貴子〉

淀川河川敷慰霊碑

1945年終戦6月7日

B29 250機以上 B24 護衛機を引きつれ小型爆弾・油脂焼夷弾で空爆し、死者2800人を出した。私は母校上田台地にあった6月1日の空襲で、授業がなく在宅して居り空襲と共にこの河川敷(指定の避難場所になっていた)に逃げ、この付近で米軍の容赦ない機銃掃射を受けた。足にその時の傷跡が60年たった今も残っている。今は薄く痕跡をのこすのみであるが…。空襲後あちこちに散らばった遺体(身元不詳 引き取り手なし)は数ヶ所で野焼きされ茶毘に付されて遺骨はその土中に埋められた。

これを哀れんで地元の篤志家、東浦栄二郎氏(故人)が遺骨を1ヶ所に集め庭石に千人塚を刻んで(実際は1000体よりもずっと多い)おかれたときいている。

現在は由来記と共に黒御影を台座にして千人塚があり、毎年6月7日に慰霊祭が行われている。今年は日曜日であったが菖蒲園の喧噪(けんそう)よそに例年より多くの人が参加され、無惨な死をとげた人々の冥福を心より祈ったことであった。＜竹中靖子＞

千人つか

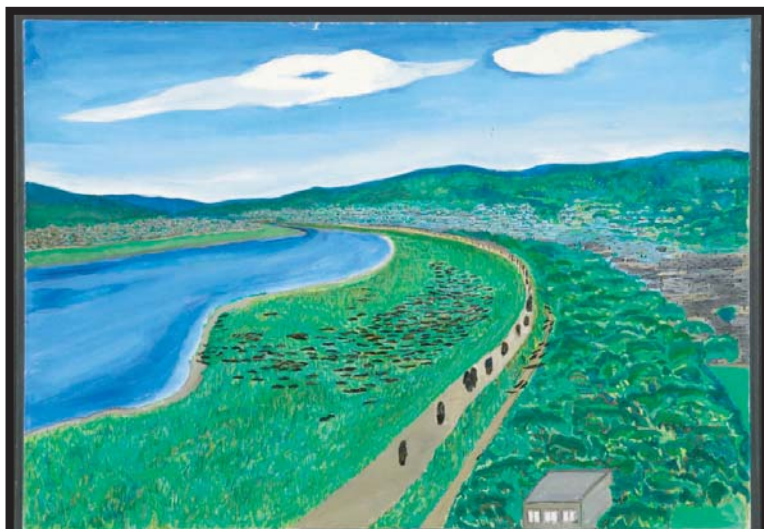
ここに一枚の絵がある。



6月7日の空襲 城北公園(淀川の堤防)の惨状。母の遺体を捜す少女

■真弓百合子さんの絵
(資料:ピースおおさか)

これが昭和20年6月7日の大空襲の淀川河川敷の阿鼻叫喚(あびきょうかん)地獄図を思はせる様相のあと、この世の末と思はせる絵である。



6月7日の空襲 沿北淀川河川敷での死体処理の前の風景

■栗林幸子さんの絵(資料:ピースおおさか)



犠牲者が次々に寝屋川方面に逃げてくる光景

■岡田加寿美さんの絵(資料:ピースおおさか)

この日は朝から抜けるような青空であった。夏の空は一転暗黒の雲が垂れこみまわりは、えもいわれない静寂がつつんだ。



淀川北岸堤防上で焼死体にガソリンをかけて焼いていた

■阪本馨さんの絵(資料:ピースおおさか)

その後土地の篤志家東浦栄二郎氏による遺体の処置（あちこちに散乱している死体を何方所かに集めてガソリンをまき遺体を焼却）その霊をなぐさめるため千人塚が建立され、毎年慰霊法要が連綿とつづいている。供養については、豊田貴子さんがくわしくお書きになっているのでここでは割愛させていただく。

この絵をみて我々がしてきた戦争とは何か？

人間が人間ではなくなるこの狂気、しかもこの絵は遠い戦場でもなく、つい身近近くの場所であったのである。

しかしまぎれもないこの現実を記憶にとどめている人が一体どれだけいるのだろうか。

付記

当時は戦争に関しての報道は、写真はおろか空襲に関しての現状の様子等はきびしく管制されており、只人々の個々の記憶によるものだけである。〈竹中靖子〉

いろんな面からふれる”よどがわ”

今年、平成21年は奇しくも淀川改良工事100年の記念の年で
あり水都大阪2009が開かれている。

そこで我が母なる大河淀川をとり上げてみたい。

ビワ湖に端を発して大阪湾に注ぐ全長75キロ、水位の高低
差30m、流れは舟道に適し交通の動脈として言ふ迄もなく、
大阪平野、市の中心を流れている堂々たる大河である。

三川を合流してその水系は度々の洪水や氾濫、堤防の決壊・付替、水路の開削などの変遷を辿り、そこに暮す
人々に大きな影響を与えてきた。

国の歴史にも古くは継体天皇の頃の交通として、更に時代は下り、江戸～明治の初めにかけて都とのかかわ
り、更に商都「なにわ」に至る歩みである。

(朝鮮通信使とか・・・この一連の資料・記述は尼信の資料館、湖北の雨森芳洲庵等にくわしい)



■三十石船
(資料:財団法人 アダチ伝統木版画技術保存財団)

三栖閘門

先年長山講師について淀川を学んだ時、他の
ことはすっかり忘れてしまったが、今でも鮮
明に残っているのは、初めて現地に行って知
った三栖閘門の跡とその資料館である。

三川合流の少し上手、水位差のある宇治川と濠川を結ぶ堰で、昭和初期建設、
都が京に移って以来、経済・軍事の面から伏見は脚光を浴び、秀吉時代に築城
等々建築資材などの資材の運搬に必要から、伏見港はその拠点となり、京の
玄関口として益々重要になったといふ。その為”三栖閘門”は衆知の技術を尽
くして着工され3年がかりで完工、淀川海運のスエズと呼ばれたそうである。
近代は蒸気船も就航したといふ。しかし鉄道などの陸路交通の発展、天ヶ瀬
ダム completionにより三栖閘門はその役割を終えた。

今は十石舟の舟着場、資料館等も出来、往時を偲んでいる。時の流れは川の流
れに重なり、その盛衰はこの世にある運命共同体としてしみじみと感じたこ
とであった。



■三栖閘門 完成当時(写真:淀川資料館)

三栖閘門
1929年(昭和4)3月31日に完成



■三栖閘門前扉室
(写真:淀川河川事務所)

”よどがわ”にかかわりある人物

大橋房太郎 (1860年－1935年)

大阪府出身の政治家。

大阪府を流れる淀川の治水に一生を捧げ、治水翁と呼ばれた。

【略歴】

- 大阪府東成郡榎本村(現在の大阪市鶴見区)放出(はなてん)の庄屋に生まれた。
- 東京で鳩山和夫邸の書生をしていた時、1885年(明治18年)の淀川の大洪水のことを知った。
- 急遽帰阪し、惨禍を眼のあたりにして、淀川治水の大事業に取り組むことを決意する。
- 1891年(明治24年)、大阪府議会議員に当選する。その後、房太郎らの努力が実り、1896年(明治29年)、国レベルでの河川法が制定され、淀川改修費が出されるとの両院の可決をみた。その時傍聴席にいた房太郎は思わず「万歳！」と大声をあげた為、守衛に場外に連れ出されるという場面もあった。
- 淀川治水のため私財をなげうち、生涯清貧を貫いた井戸堀の政治家で、晩年にも陋屋に住んでいた。
- 葬儀は大阪市葬で大阪中央公会堂で行われた。(ウィキペディアより引用)

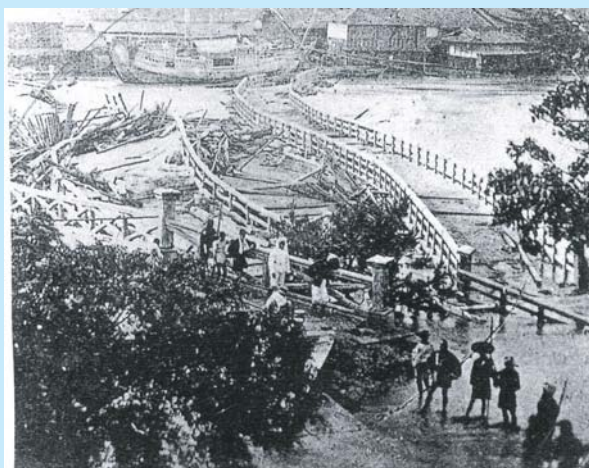
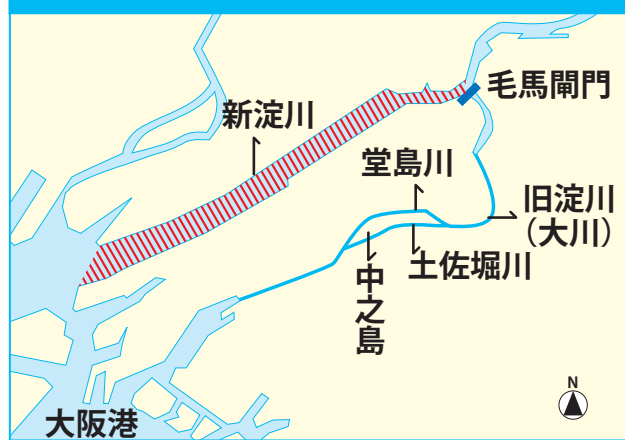


大橋房太郎

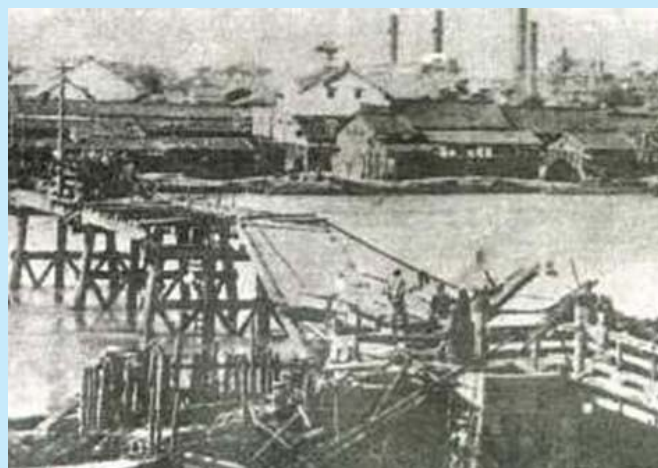
【治水事業の概要】

土地買収 約916ヘクタール(甲子園球場の約215個分)
地権地主 約3000人
工事期間 明治29年～明治43年(明治43年完工)
総工費 約1000万円
(国家予算2億円の5% 現在のお金で2兆円)
労働力 延べ800万人

淀川改良工事完工図

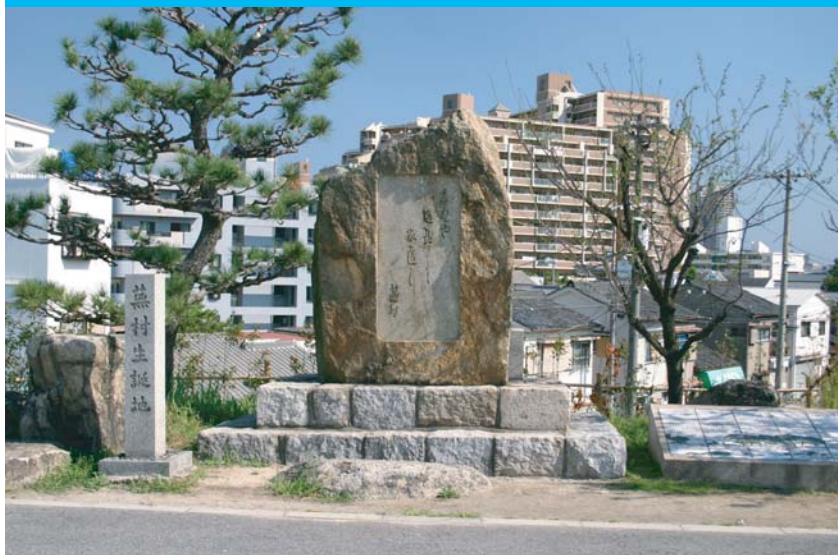


淀川決壊 安治川橋(写真:淀川河川事務所)



淀川決壊 天満橋(写真:淀川河川事務所)

与謝蕪村



■与謝蕪村 句碑・生誕地の碑

住所:大阪府大阪市都島区毛馬町3-7 毛馬堤防上

与謝蕪村 宰鳥(さいちょう)

江戸中期(1716～1793)毛馬より下流1 km江戸中期の有名な俳人。

有名な「春風や堤長うして家遠し」これは蕪村62才の時に出した俳詩集「春風馬堤曲」(18首ある)の二番目の句です。ちなみに一句目は「藪入りや浪花を出でて長柄川」です。正月16日[※]藪入娘の道行を構想し、老蕪村のふるさと毛馬に対する深い郷愁をうたったものといわれている。けだし詩人[※]荻村朔太郎をして、郷愁の詩人といわれた所以である。

また、俳諧と共に絵画にも長じ多くのもの残し名をなした。しかし望郷の念やみがたかった彼も生家没落后毛馬を離れた後は、終生毛馬に帰ることなく「白梅に明くる夜ばかりとなりにけり」辞世の句を残し68才の生涯を閉じています。(岩波・小学館・新潮社・講談社・明治書院 発行に詳しい)

付記

旧毛馬第一閘門、毛馬洗堰が平成20年6月9日に国の重要文化財に指定されている。〈竹中靖子〉

※【藪入り】 奉公人が正月又は盆の15日前後に主家から休暇をもらって親元に帰ること。当時は中津川を渡り毛馬の堤を5～6町北上

※【荻村朔太郎】 (1886～1942)詩集「青猫」「氷島」など、詩論や評論、古典研究を手がける。「郷愁の詩人与謝蕪村」著

淀川を渡る赤川鉄橋



■赤川鉄橋(写真:上田泰彦)

又余談乍ら都島区との境に今日では珍しい戦前からある古いトラス型のもので人と共に渡るめずらしい赤川鉄橋がある。まもなく複線化され客車が走り橋もなくなる。しかしここも戦禍の深いきずあとを残す。〈竹中靖子〉



■赤川鉄橋



■ワンド(背景の橋は菅原城北大橋)

淀川ワンドは昔、船が安全に渡航出来るようケレップ水制という工事で水の流れを調整していた。

さらに、だんだん舟の往来が無くなり、ワンドと呼ばれる湾に入り込んだ葦が茂りそれが、魚の卵を産み付ける貴重なスポット、自然の宝庫になった。30くらいのワンドが残るが昔は毛馬橋くらいからあった。〈竹中靖子〉

淀川とワンド

淀川の舟運

淀川は、河川法上は琵琶湖から大阪湾までの全長75kmをいいますが、一般的にわれわれが淀川を指すとき、八幡の三川合流(桂川・宇治川・木津川)地点から大阪湾までの37kmをいうことが多いようです。



■三十石船
(資料:財団法人 アダチ伝統木版画技術保存財団)



■フィールドワーク(平成21年6月24日)

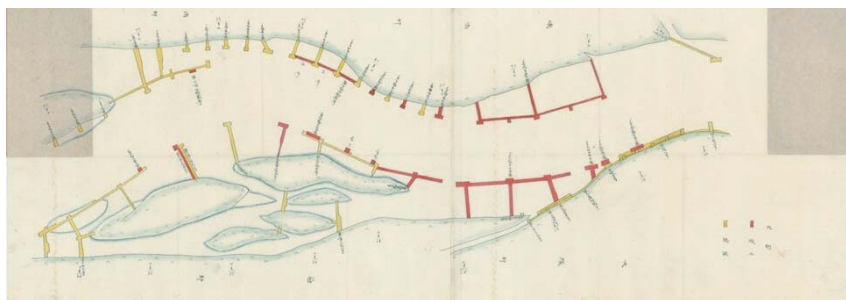
淀川は古くから交通の要衝として栄え、江戸時代には三十石船(乗客定員28名程度、米を三十石積めることからそう呼ばれた)が京都伏見と大坂をつないで盛んに人と物資を運んでいました。明治時代に入り蒸気船が登場し、淀川の舟運は新しい時代に入りました。

航路は大きな船が通れるように一定の水深を保つ必要があるため、オランダ人技師デ・レーケにより、土砂が堆積しない仕組みの水制工^{そだ}粗朶沈床^{そだ}がつくられました。これにより水路を曲げて水の流れの速さを制御し一定の水深(1.5m)を保つことができました。

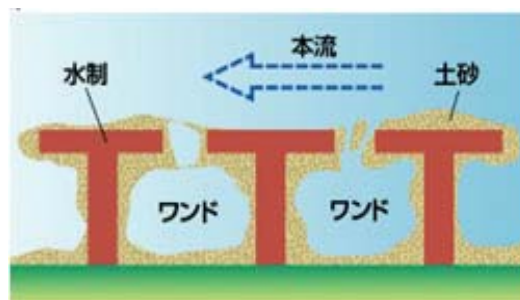
※【粗朶沈床】^{そだ}粗朶(里山の雑木から伐採した木の枝)や下草を編んだものを何重にも積み重ね、その上に大きな石を載せ河岸から川の中央に向かって垂直に突き出した形で底に沈める工法。



■明治時代に登場した蒸気船 (資料:淀川資料館)



■粗朶水制 (資料:淀川河川事務所)



■淀川ワンドの仕組み (資料:淀川河川事務所)



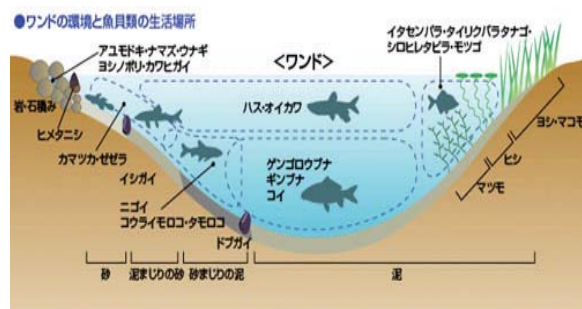
城北ワンドは、粗朶沈床による水制工事で囲まれたところに土や砂がたまり、その上に水際を好む木や草が茂り、結果としてワンドの形ができました。ワンドの水は地下で本流と行き来し流れもおだやかで、池などに棲む魚にとっては都合良く、水辺の植物の生えているところは魚の産卵や稚魚が暮らす絶好の棲み処となっています。

■城北ワンド群（写真：淀川河川事務所）

【ワンド】 河川改修の結果できた本流沿いにある水のたまっているところで、本流とつながっているか、或いは増水すれば連なってしまうようなところをいい、本来水の力によって自然にできる「たまり」と区別されている。ワンドは淀川全体で55個あり、城北地区には19個が集中している（2009.3）。

そこには、国の天然記念物・国内希少野生動植物種に指定されているイタセンパラやアユモドキが生息していましたが、環境の変化（悪化）により最近のワンド調査では見つからなくなるほか、在来種が激減しています。淀川の生態系の象徴とされるイタセンパラは、淀川河川事務所をはじめ関係団体・研究者により定期的に調査および観察が行われていますが、2005年に確認されたのを最後に昨年2009年までに1匹も確認されませんでした。

環境悪化の要因として、ブラックバスやブルーギルの外来肉食魚が放流され在来種が食べられてしまったこと、水位の上昇などによりワンドが深くなり産卵に適した浅場がなくなったこと、ここ数年来のボタンウキクサなど外来水草の異常繁殖やビニール袋などゴミが底に溜まり産卵場所としている二枚貝が育たなくなったことなどが原因と考えられています。〈原田 禎文〉



（資料：淀川河川事務所）



【イタセンパラ】 タナゴの仲間で全長10cm、体高が高く平べったい淡水魚で、二枚貝（イシガイ、ドブガイ）に産卵する。産卵期の雄には「婚姻色」と呼ばれる赤紫を基調とした美しい色に彩られる。

淀川の歴史、役割、環境など、いろんなことについて知りたい方は、枚方市にある「淀川資料館」をぜひお訪ねください。

入館無料

淀川資料館 枚方市新町2-2-13 TEL: (072) 846-7131

- 参考文献 1. 淀川河川事務所発行冊子・資料
2. 淀川資料館パンフレット・資料



花・緑・川！ 人気の城北公園

写真：小椋

「城北公園」、「千林の長屋」、「淀川城北ワンド」は、平成22年3月5日（金）に大阪市の都市景観資源に登録されました。



■城北公園正面

城北公園と淀川

旭区の北西を流れる淀川は、琵琶湖から瀬田川を経て、京都で★三川（宇治川・桂川・木津川）合流をし、枚方市・寝屋川市・守口市そして旭区へ滔々と流れ、城北公園を潤します。淀川は、城北公園から約2 kmほど下流の毛馬で、南の大阪都心に向かう大川（旧淀川）と新淀川に分流する。

明治18年～治水改修へ

古代より淀川は、水量も豊かで沿岸は農作物にめぐまれるが、洪水の被害が多く暴れ川であった淀川の歴史は、「治水と改修の歴史」といえる。

近代の明治18年左岸の洪水は、生駒山の麓まで押し寄せ大被害となる。

その後も度重なる被害に淀川の改修計画が始まり、大阪の治水王★大橋房太郎（当時の府会議員）の熱心な運動・陳情により明治29年度から10年間の改良工事の予算が議会を通過した。大阪治水港湾工事の父沖野忠雄、オランダ人技師J・デレーケ、J・A・エッセル等、又多くの人の力により、機械力も今ほどではなかった河川堤防工事は困難を極めたが、工事期間は延長されつつ明治43年に竣工します。

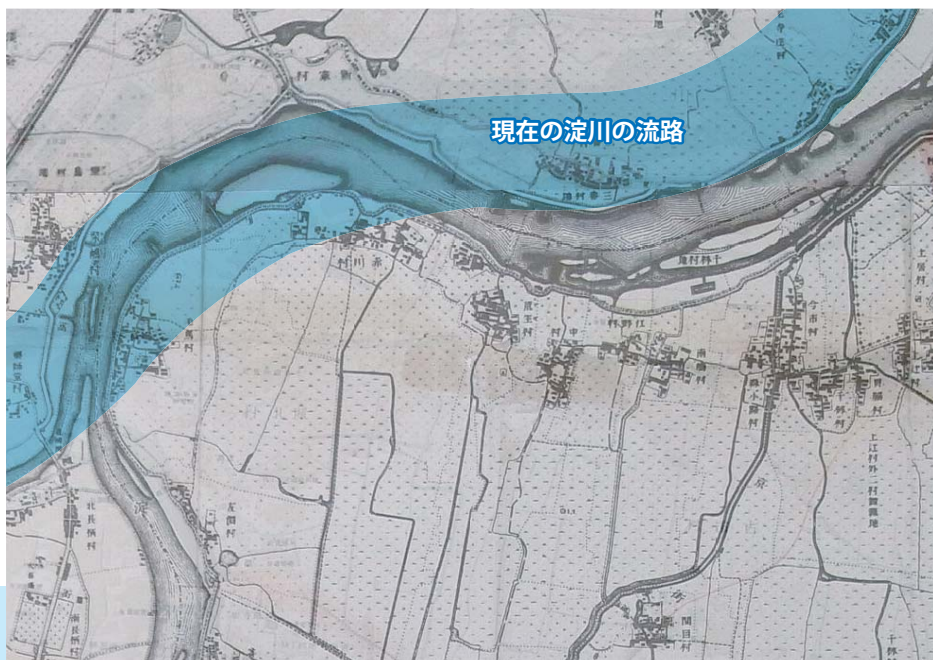


■明治18年の大洪水（現在の城東区～東成区）
（写真：（財）大阪市都市工学情報センター）



■明治18年の大洪水（現在の都島区）
（写真：（財）大阪市都市工学情報センター）

そして淀川改良工事は、守口中心部から現城北公園までの湾曲していた**本流を直線的**にし、下流放水路の中津川流域に付け替え、いま**新淀川**と呼ばれている。



■ 淀川流路の変化(地図は明治20年頃)
(資料:大阪市史編纂所)

治水改修～公園へ

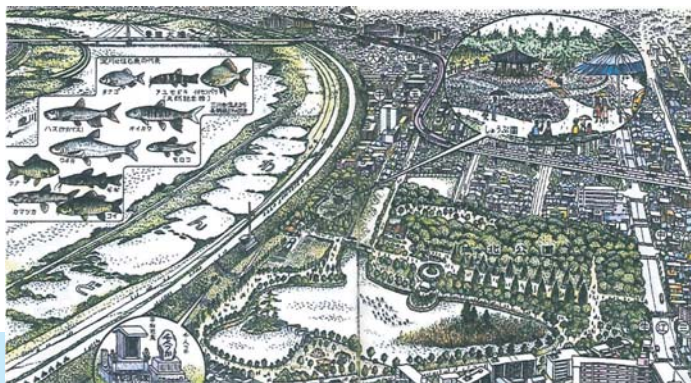
明治の大改修により守口市役所から太子橋一帯・中宮一部・生江一部辺りの昔の淀川河川敷地域は、**堤防の外に取り残され**、旭区部分の大小**水溜り**や水面の多い**空地**が**城北公園**になりました。

その後、小支流の江野川を利用して、園内に植えられたのが**菖蒲**！今や市内一番の**菖蒲園**となり、**城北公園**には欠かせない公園の大見所です。**園内の大池は淀川本流とともに、釣り人にも人気の**スポットとなっている。

改良工事のときにできた公園下川岸の★ワンドは、淡水魚の宝庫でしたが、近年は外来の魚や草が多くなり、淀川の自然を守る環境保護とエコの声が高まっている。



■ 昭和9年頃の淀川(資料:大阪市史編纂所)



■ 城北公園とワンド(資料:「淀川絵巻」保育社)



左■菅原城北大橋
右■豊里大橋

旭区の大自慢の**淀川は、豊かに流れ**！

旭区流域に、★**菅原城北大橋**と★**豊里大橋**の美しい**斜張(シャチョウ)橋が2橋**！(市内に斜張橋は**全6橋**)
Wで市内交通に役立ち、遠景・近景ともに朝夕、すばらしい景観です。

城北公園のはじまり

昭和3(1928)年 **豊里公園**(当時、東成区)として大阪都市計画により面積約13.23ha(甲子園の約9倍)と議会決定。

昭和7(1932)年

旭区(日出る東部の意)、東成区との分区により**始まる**。

〔区画整理事業により新森中央公園や江野、大宮中、新森北公園などは、この年に誕生。〕

■昭和7年頃の区役所
(写真:「旭区史」)



■新森中央公園



■江野公園

昭和8(1933)年 第14回失業応急事業として起工、10月より淀川河川敷とともに整備。当時の面積約**9.52ha**で園地の**約三分の一は池**。現在、約10.3ha。

昭和9(1934)年 大阪城の北方位置により、**城北公園**(旭区)と改称し、開園。当時市内で、明治24年開園の**中之島公園**、明治35年の第五回勧業博覧会跡地に明治42年開園の**天王寺公園**、昭和6年開園の**大阪城公園**に**次ぐ大公園**でした。

この年、秋に室戸台風で大被害を受けたが、施設は復旧。

天王寺公園から移設の**教材植物園**、学校**教材園**、工業用植物園(の**薬草園**)などで**始まる**。

温室、**児童遊技場**、**ボート舟遊び**の池！**魚釣り**用の流れ！の娯楽施設とともに**貸し農園**！70区画(一区画約52㎡)がヨーロッパ大都市の例にならい、市民の**健康増進の目的**と**園芸趣味の普及**のため設けられていた(**時代の先取りをした行政**がすでにあった)。



■(参考)榎並小学校の遠足
城北公園北側の河川敷(昭和11年頃)
(写真:「榎並と野江の歴史」)

城北公園では、榎並小学校の遠足や城北小学校の**運動会(2500人位)**が行われたそうです。



■(参考)昔の貸し農園(淀川区)
(写真:「目で見える大阪市の100年 上巻」郷土出版社)

貸し農園は、第二次世界大戦中は**食料増産**にも役立ったということで。昭和28年までありました。

昭和10(1935)年頃

城北公園昆虫館が公園に建てられ、戦況の悪化にともない、戦時中は閉鎖。
収蔵標本は、昭和48年に自然史博物館に移管されている。



市民の人気を集め、「城北公園虫の会」「昆虫と植物の会」などが活動し、数多くの昆虫専門家が育ったといえます。



■左)昆虫館内部 ■右)昆虫館外観
(写真:大阪市史編纂所)

昭和23(1948)年

(国の戦災復興都市計画により)戦後整備始まります。

(昭和25(1950)年 旭区では★新森中央公園に
市内最初の公園愛護会ができます。)

昭和27(1952)年

池を少し狭め、運動場が設けられました。

昭和28(1953)年

花菖蒲園計画が、開園時の池を利用し、淀川の隣接土地に合う、
水生植物として始まります。(国の大公園整備を含む第一次五ヵ年計画)

(昭和33年:国の大公園整備第二次五ヵ年計画)
(昭和34年:中小公園第一次計画)

昭和36(1961)年

第二室戸台風被害の復旧工事と共に造成工事も進められた。
砂質土壌のため通水性には良いが水持ちが悪く、粘土や畑土が入れられ、
砂質土は、長居公園の粘土質土と交換されて相乗効果をあげたそうです。

昭和37(1962)年10月

花菖蒲定植が始まります。

名古屋市の鶴舞公園や明治神宮の菖蒲園から株分けを受け、
品種や株数が集められた。

昭和39(1964)年5月20日

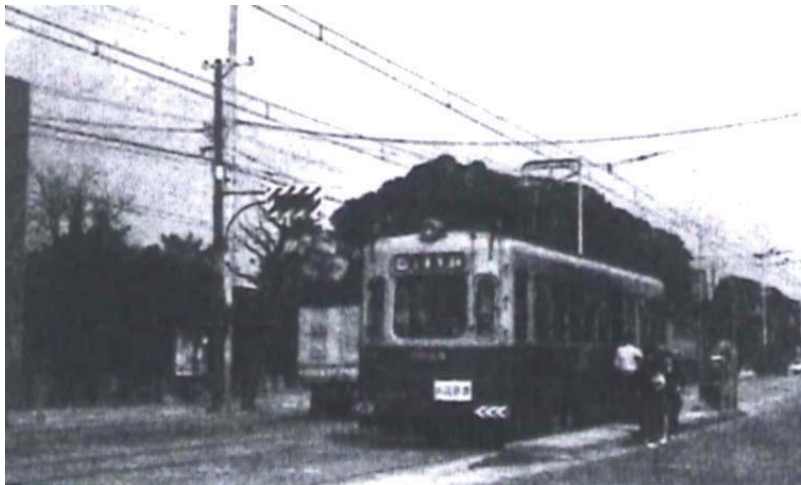
市内初で当時8000株で花菖蒲園開園されます。

(都市公園整備を重点に大阪市緑化100年宣言により
緑地を市民一人あたり約1平米から2平米へ



■ 現存する停留所の標識
(写真: 上田勢至郎)

今のバス道を市電が走り、城北公園前停留所があった。今その停留所の標識は、守口市の個人宅に現存。(上田勢至郎 発見)



■ 「城北公園」市電停留所(昭和44年)
(写真: 「目で見える大阪市の100年 上巻」郷土出版社)



■ 昭和45年の城北公園大池(写真: 「旭区ホームページ」より)

この頃まで『池』には、両手漕ぎオール貸しボートが浮かび、隣地の大阪工大の学生や子供連れの家族によく利用されていました。



■ 現在の城北公園大池

『池』は、大きく美しい噴水が、水質浄化と共に来園者を優しく、また力づけてもいる。

今、池には、可愛いかいつむり・しらさぎ・渡り鳥の飛来があり、そして素早いカワセミのユーモラスな魚取りもよく見られ、写真家の好スポットにもなり楽しまれています。



(写真: 大阪市)

昭和49(1974)年 『花木公園整備計画』により、**花菖蒲園**は、1.3ha、**13,000株**となります。

(今各区、花の名所27と下水処理場の花12ヶ所あり)

(勝負の)武士や庶民に愛された**菖蒲**は、多くの改良品種があります。

江戸系、伊勢系、肥後系の品種は250種もある。

千代の春・猿踊り・白雪・浪花津・業平・富士・ヤタカラス……と

名称の豊かさ、大輪の見事さに市民の**人気は高い**。

入場料は200円です(市内のシニアと学生は無料)。

昭和56(1981)年 国際障害者年を記念して、障害者用設備もされました。

(国の大公園整備第三次五ヵ年計画と共に市の五ヵ年計画も始まり、緑地は一人当たり約3平米へ)

公園内にスーパー橋が!

平成元(1989)年 菅原城北新橋がアーチ状に公園を東西にまたぎ架橋。

公園の真ん中にありながら、アーチをいくつも重ね、
まろやかな景観がマン丸の大理石のオブジェと共に
公園内に**やさしくマッチ**しています。



■ 菅原城北大橋全景



■ オブジェ



■ 菅原城北大橋のアーチ

平成2(1990)年 淀川堤防の**スーパー堤防事業**が実施され、公園より堤防上へなだらかな
芝生スロープができ、河川公園と一体化した。



■ 芝生スロープ(公園側)



■ 芝生スロープ(川側)

堤防上には、平和地藏堂と
★『**千人塚**』があり、慰霊祭
の6月7日以外にも手を合
わせる人が見られます。終戦
二ヶ月前の空襲の大惨事が
悔しい! です

堤を東南に降りると、中世鎌倉時代の遺跡★『**赤川廃寺**』の石碑や、堤防直ぐ下に、平安時代より続く★**日吉(ひよし)神社**があります。七月に行われるゆかしい**だんじり祭り**で今も近隣の氏子を守る。

平成5(1993)年 東ゾーンにみちばた広場完成

遊具の丘は、市バス道側の西ゾーンと東側の桜広場の二ヶ所にあります。

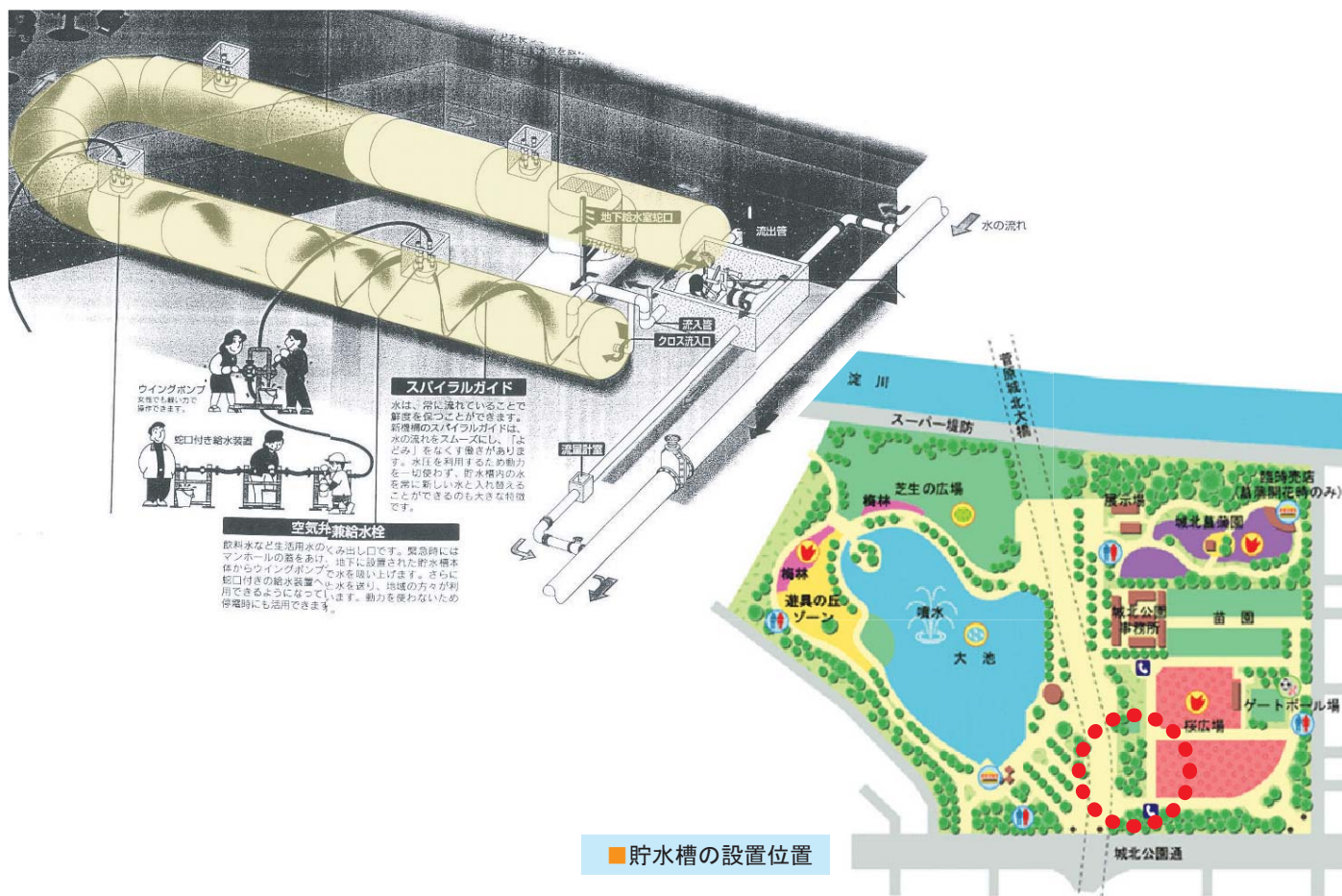
飲料用耐震性貯水槽が地下に!

平成7(1995)年 平成7年度、城北公園の地下に市内初めてとなる**4百トン**の飲料用耐震性貯水槽が設置された。この設備では、災害直後の3日間、一人一日3リットルで4万4千人分の飲料用など必要最低限の水を確保します。

直径3m、長さ57mの水道管がU字型に埋設されています。

(現在は、市内9箇所の公園にあります。)

■貯水槽のイメージ



平成8(1996)年 西ゾーンの池の護岸整備がされ、大きく華やかに噴水上がる池をめぐる並木散策路が完成。



憩いの売店は、池そばにあり
三角錐二枚重ねの屋根が見事!



シエル(貝)型風の休憩所は、ヨーロッパ的!



メタセコイヤ、桜、梅などステキ並木道!

桜広場



春

公園初期から多くの人々を集め愛された、
美しい雲海に似た(頬をなでる)桜は見事！
今もお花見シーズンには多くの人で賑わいます。
5月の若葉も一段と美しく、ステキな森林浴！

■桜が満開の城北公園

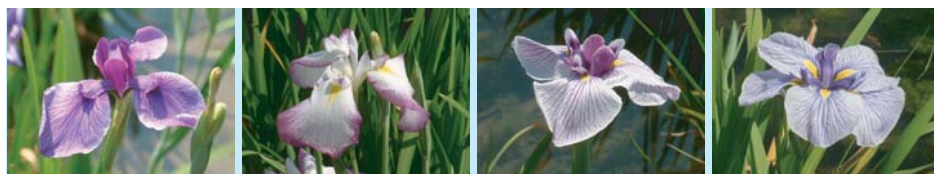
現在の菖蒲園

現在、園内には和風・中国風の東屋、休憩所、回遊道、小太鼓橋、丸太橋が立派に丹精された多くの菖蒲の花華とよくマッチし、引き込まれた淀川的水流とともにすてきな情緒を感じさせてくれます。

菖蒲園期間中は、市内各地から五月下旬から六月半ばまで、多くの鑑賞者が来園します。花しょうぶフェスティバルは平成22年度には第20回を数え、フリーマーケットなど毎年賑やかさを増している。また、フェスティバルの当日の夜間は、花しょうぶと音楽の夕べを開催している。



(写真：城北公園事務所)



■園で見られる菖蒲 (写真5点：上田泰彦)



城北菊花展

城北菊花展も、毎年11月に開かれています。無料です。
昭和30年代から栽培されており、市役所、大阪城、天王寺動植物園、長居公園にも出展。

懸崖菊・盆栽菊と手入れの素晴らしさに、又、車椅子目線にも合わせた展示が優しいです。

嵯峨菊・伊勢菊・江戸菊の古典菊の香りも会期中漂うように、丹精されています。



■展示物(写真：上田泰彦)

秋

「城北菊花展」開催

白き菊の海に秋の風を思わせる秋の菊花展に、白・赤・黄・紫の花の競演

11月1日(日)～23日(月・祝)
午前10時～午後5時

城北公園(城北公園内)
城北公園事務所 TEL: 6928-0005

城北菊花屋ガイドツアー 参加費 無料
城北菊花屋を順番的に案内して見せます。
【日】 城北菊花屋開館時間(土・日・祝日)
午前10時～午後5時(入館無料)
※雨天は中止となります。雨天の場合は、城北公園事務所へお問い合わせください。

【月】 城北菊花屋の夜間・特別観覧券(1000円)を販売します。
【日】 城北菊花屋(1000円)に特別観覧券(1000円)を販売します。
【月】 城北菊花屋(1000円)に特別観覧券(1000円)を販売します。

やさしい 菊づくり教室 参加費 無料
お花を育てる楽しさを体験して見ませんか。
城北公園事務所(菊の館)の職員が、お花の育て方をやさしくお伝えします。

平成21年12月1日～平成22年10月
※お花の育て方を学ぶための教室です。
【日】 城北公園事務所(菊の館)にて開催
【月】 城北公園事務所(菊の館)にて開催
【日】 城北公園事務所(菊の館)にて開催

城北公園事務所 TEL: 6928-0005

レトロチックな
様子と淀川は、
デートスポットに最
適！かも

そして大阪湾まで
の10kmほどは、
徒歩可能！な堤防が
続く旭区。

ご家族、友人、
同好の方々とウォー
キングに最適！

旭区のすばらしさ
と大阪のステキさを
十分に楽しめる
起点！

堤防上のすばらしさ

堤防上の眺望は、広く大きく、悠々の流れと彼方に北摂の山、六甲の山並み、そして、公園に振り返ると、旭区が一望でき、遥かに生駒の山並みを望めます！

淀川を右に見ながら堤上を河口方向に歩くと、公園より遠望のJR城東貨物線、通称★『赤川鉄橋』の歩ける側道、今は貴重なレトロ木道があります。

一時間毎にディーゼル機関貨物車にも出会え、かすかなゆれを感じながら約600m対岸の東淀川区の柴島(くにじま)浄水場のレンガ洋館が望めます。

さらに少し足を伸ばすと、堤防上に★与謝蕪村の『春風や堤長うして家遠し』の句碑があり、故郷恋し母恋しの蕪村の面影を偲ぶうちに、堤防上に宇宙船のように美しく見事な淀川洗堰の塔8基と明治より三代目の力強い、淀川と大川の水位差調節をし、船の運航を助ける毛馬閘門が大川と共に現れる。

防潮水門でもあった旧第一閘門・旧第二閘門は一昨年、近代遺跡として国の重要文化財に指定され、デレーケらを偲ばせる日蘭交流広場に往時のように懐かしく誇り立ち、淀川改修記念碑とともに河川公園を見つめている。



■ 通称「赤川鉄橋」



■ 与謝蕪村の句碑



■ 淀川洗堰



■ 旧第一閘門

大阪市のみどりの基本計画の拠点、[※]広域避難場所の一つとして**これからも整備、改修が楽しみな旭区の城北公園！**（※広域避難場所は市内に32ヶ所、学校などの収容避難所は市内に540ヶ所あります）
草花の各種講習会や、緑化相談、花しょうぶや菊の栽培体験、花しょうぶフェスティバル、
菊まつりetc.

水・緑・花・豊かな旭区ウォーキング！しましょう



＜小椋ミドリ＞

参考 交通機関	市バス	JR大阪駅前より	34号系統	[守口車庫前行]	[城北公園前] 下車
	〃	地下鉄都島より	110A号系統	〃	〃
	〃	天満橋より	110号系統	〃	〃
	〃	守口車庫前より	34号、110A号、110号系統	〃	〃

参考文献	目で見える大阪市の100年 上巻 平成10・22年版
	ふるさとの思い出写真集 大阪 下巻 昭和61年版
	旭区史 20年、50年
	大阪春秋 平成11年6月版
	大宮小学校50年誌・城北小学校80年誌・榎並小学校100年誌
	淀川ハンドブック
	大阪市建設局資料
	淀川絵巻
協力	城北公園事務所 (Tel.06-6955-0005)

★は本地域紙既刊に詳細記述あります。

「城北公園」、「千林の長屋」、「淀川城北ワンド」は、平成22年3月に大阪市の都市景観資源に登録。



■昭和45年頃の城北公園
(写真: (財)大阪市都市工学情報センター)

—淀川に優し麗し斜張橋—

すがわらしろきたおおはし

菅原城北大橋

写真:小椋



■すがわらしろきた大橋全景
(写真:大阪市建設局パンフ「なに
わ八百八橋の良好な保全に向けて」
平成21年より)



■橋名板



■川面に映える自然配慮の橋と旭区のお宝★大阪工業大学全景

沿革概要

平成元(1989)年6月 利用開始 !

(昭和59(1984)年に着工)

【全 長】1,350(河川部1,203)m

【幅 員】25.5m

【行政区】旭区、東淀川区

【正式名称】淀川新橋有料道路

(大阪市管理)

【総費用】約234億円

【形 式】3径間連続斜張橋(合成桁橋)

【設計等】日本構造橋梁、

施工日立造船

と三菱重工。

公園部は鴻池組

【橋脚】壁式中空鉄筋コンクリート他

【橋桁】合成桁橋 (河川内の橋桁部分は、フレシネー方式カンチレバー工法、通称やじろべえ形式
による鋼とコンクリートの接合で、当時珍しい合成桁)

大阪市で最初の有料道路橋

菅原城北大橋は、旭区生江の城北地区と東淀川区豊里の菅原地区を結ぶ大阪市内で最初の有料道路橋で普通車の通行料100円のため、通称“百円橋”と呼ばれ利用されている。

(大型車150～350円、原付125CC以下10円)

当時、淀川に架かる市内北東部の橋は、長柄橋と旭区の豊里大橋の2橋で、慢性的な交通渋滞があり、緩和と市中心部への連絡を充実させるため、都市計画道路豊里矢田線整備事業の一部として2橋の中間地点に建設された。



■位置図



■料金所

柱間に多数ケーブルを張り強風への配慮がされている斜張橋！



橋の付近には、天然記念物のイタセンパラ(近年は未確認)をはじめ淡水魚が生息する★**ワンド**や川べりに群生する**ヨシ原**などがあるため、橋は貴重な**自然に配慮**するとともに、**洪水対策**のため**川中に長いスパンの橋脚が可能な斜張橋**となりました。



■イタセンパラ

橋上から**公園内の四季折々の**
素晴らしさが一望できるのは珍しい



両側の歩道が小石舗装のため落ち着いた風情。



公園内を縦断するため、
多くの**アーチの丸み**で
優美さを出している。



自転車歩行者専用道に乗り入
れると、多くの橋と鉄道線を見
て**サイクリングが楽しめる**。

長柄橋方向、約1km先には通
称「赤川鉄橋」(軍事利用もあ
った)があり、**J Rの貨物車両**
が走る。



自転車用・車椅子スロープも
両側に完備している。



なにわ自転車道(府道803号旭西淀川自転車道線約22km)で西淀川区へ。

北大阪周遊自転車道(府道801号大阪吹田自転車道線約20km)で千里万博公園や北区中之島へ。

水と緑

淀川の悠々の流れと
両岸にグリーンベルト、
ヨシ原は雄大に美しい



夜間景観

■菅原城北大橋の夜間景観



昼間の景観以上に**夜間**にも写真家、散策者に**人気**は高く、
主塔やケーブルは**優しくスマート**で美しい **隣の豊里大橋とのセット**は特に**優美**！



■豊里大橋の力強いライトアップ

(写真：大阪市建設局パンフ「なにわ八百八橋の良好な保全に向けて」平成21年より)



市内に斜張橋は6橋、内2橋が旭区にあり、有料橋は2橋、内1橋が旭区にある。

全国に100円の有料橋は約10橋あり、なかでも長崎は島とともに有料橋が多い。

自然と橋梁技術の調和が年月とともに私達に**多くの想いで**を作ってくれる…
鳥たちの休息も飛び交う姿も橋上にやさしく美しい

菅原城北大橋は、「浪速の名橋50選（淀屋橋・天神橋・豊里大橋等）」のひとつ。

浪速の名橋50選は、大阪市に架かる全橋梁を対象に、社団法人土木学会関西支部が名橋として選定したものです。

＜小椋ミドリ＞

引用	大阪市建設局他
	菅原城北大橋管理事務所 06-6927-3833
	大阪市建設局管理部管理担当 06-6615-6486

★は本地域紙既刊に詳細記述あります。

『大好き旭！城北！』

旭区あり おおさかに 弥生のときから
 淀川ともに 西より東へ 文化と人 運ぶ
 昔も今もこれからも 続いてつづく 明るい旭

旭さす おおさかと 城北は
 淀川大川 流れつづいて 多くの人 迎え
 ところ広がる 町々に 旭さす日々 明るい旭
 ＜小椋10、03、25＞

一詠

ふるさとは 思い出景色 変わりても
 年経るごとに 思いましゆく
 ＜ミドリ＞

旭区地域史

区民による地域史づくり・人づくり

大阪市旭区地域史づくりワークショップ

【生江編】

平成22年3月

- 編集／旭区^{いまむかし}の今昔を知る会
- 発行／大阪市旭区役所総合企画担当
- 協力／総合調査設計株式会社

この冊子は、区民の方が中心となって現地確認、聞きとりなどの調査、情報収集をして作成しました。

旭区の今昔を知る会からのお願い

旭区の地域史づくりにご協力ください。

旭区の歴史を子どもたちに残すため、みなさんが持っておられる古い写真や資料をお貸しください。

■江戸時代や明治時代から昭和40年代頃までの、旭区の風景、行事などを写した写真、又は古い資料や道具などなんでも結構です。

■お借りしました写真や資料等は大切に取り扱い、写真データ等におさめた後、返却いたします。

■お借りしました写真や資料等は、地域史作成のための資料や地域史に掲載させていただくほか、旭区役所が実施します各種事業に使用させていただく場合がありますので、ご了承をお願いいたします。

なお、地域史は今後数年かけて作成する予定ですので、お借りしました資料等の掲載にはお時間がかかることがあります。
詳しくは旭区役所総合企画担当までお問い合わせください。

「旭区^{いまむかし}の今昔を知る会」とは

平成18年度から公募で集まったメンバーで、区内10地域の身近な歴史や思い出などをとりまとめて、順次「地域史」を作成しています。本会では、地域史の作成を通じて、これまで積み重ねてきた経験等を活かした人材の育成、コミュニティのさらなる向上を目指すものと考えています。



平成22年3月

本内容に関するお問い合わせは
大阪市旭区役所総合企画担当まで
tel 06 (6957) 9683